

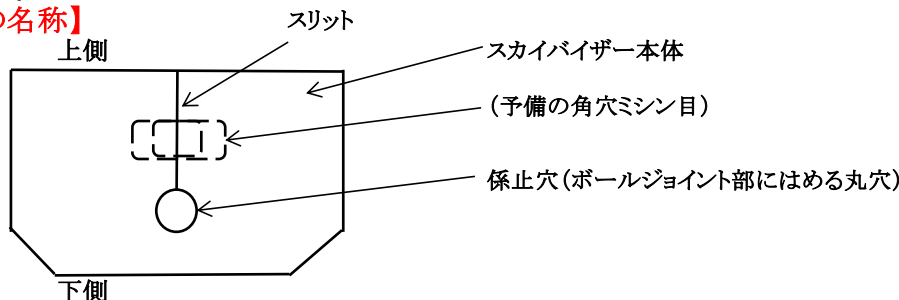
スカイバイザー取付要領



【製品の概要】

本製品の特徴は、特別な部品を使用することなく、製品自体の撓みを利用してバックミラーの支持軸に取付けることができます。

【各部の名称】



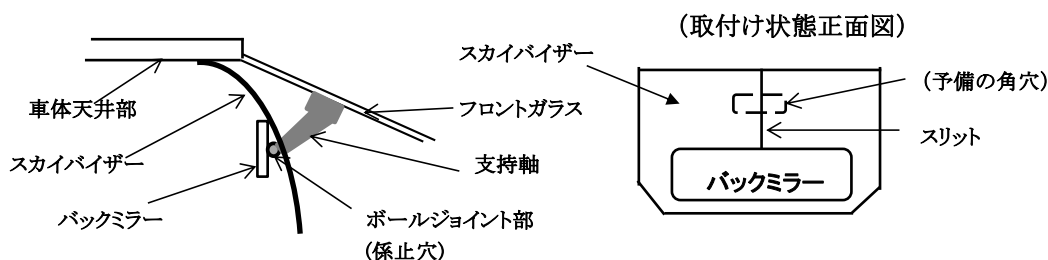
【Aタイプの取付要領】 :バックミラーがフロントガラスに支持されている場合、 ⇒係止穴の丸穴を使用します。

(※予備の角穴は切り取らないでそのままにしておきます。)

①スカイバイザー本体のスリット部を、バックミラーの背面に当て、スリットを開口させながら、丸穴をバックミラー支持軸の一番細いボールジョイント部(BJ部)に嵌合させます。

(※この時、丸穴がBJ部に比べて小さい場合には、穴をハサミ等で切って広げるなどして調整してください。)

②本体のスリット側の上側辺縁は、車体の天井部分又は、フロントガラス枠部に当接させます。



【Bタイプの取付要領】 :バックミラーが車体の天井部に支持されている場合、

①⇒最初に上記Aタイプと同様に取付けられるかご確認ください。

①バックミラーの支持軸の形状によっては、係止穴(丸穴)を利用できます。

この係止穴(丸穴)を利用する場合には、上記Aタイプと同様な取付け状態の場合と、次のイ図の場合があります。……(下記のイ図参照)

下記イ図の場合は、スカイバイザー本体の上下を反転させて、バックミラーの手前側からスリットを開きながら係止穴の丸穴をボールジョイント部に嵌合させ、スリット側辺縁をフロントガラスに向けます。

(※この時本体のスリット側辺縁がバックミラーの下端より大幅にはみ出した部分は、バックミラーの下端に合わせるなど、邪魔な部分はハサミ等により適当に切除してご使用ください。)

(※また、スカイバイザー本体が水平状態になってしまう場合には、丸穴をハサミで長穴に広げて本体が斜めになる状態にして下さい。固定されませんが、外れて落ちることはありません。)

②⇒次に丸穴が利用できない場合で、予備の角穴を使用する場合。

②上記Aタイプ及び①の取付け状態の何れも該当しない場合には、スカイバイザー本体の予備の角穴を使用します。……(下記のロ図参照)

下記ロ図の場合は、支持軸の断面形状に合った角穴を選択し、ハサミで切るか、ちぎり取って開口します。次に、本体をバックミラーの裏側から、支持軸とフロントガラスとの間へ配置したまま、スリットを開いて角穴を支持軸に嵌合させ、スリットの開口部が支持軸の手前(下側)になる様な状態にして位置調整をします。

(※この時、角穴が小さい場合には、更にハサミ等で切って支持軸の形状に合わせてください。)

